

2021年度入試

杏林大学大学院 国際協力研究科
学生募集要項

◆ 博士前期課程

◆ 博士後期課程

入学試験日程

2022年2月12日（土）井の頭キャンパス

杏林大学大学院
国際協力研究科

国際協力研究科の理念とアドミッションポリシー

[理念・目的]

国際協力研究科は、国際社会において発生する様々な課題を、法律、政治、経済、経営、文化交流、言語、医療、保健衛生、福祉など多くの側面から学際的に把握し、理論的かつ実証的に問題を分析して的確に処理できるような人材を育成し、国際社会に対する支援・協力を推進することを目的とする。

[アドミッションポリシー]

国際協力研究科は、本研究科の理念・目的を理解し、その達成に真摯に取り組む意欲のある人材を求めている。具体的には、次のような資質を持つ学生を求めている。

国際開発専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) 国際開発に対する高い関心

世界諸地域の経済社会の発展に寄与することに関心があり、社会科学的研究を遂行するのに適した問題意識と能力を有する人

(1-2) 研究、問題解決への意欲

研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的・政策的に分析して解明する能力・技術を習得し、研究成果を実践活動に生かして国際開発に関する問題を解決したいという意欲がある人

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) 国際開発の実践に必要な論理を修得する知識と能力を有している。（知識）

(2-2) 課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。（思考力・判断力）

(2-3) 高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。（態度・技能）

(2-4) 自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。（研究遂行能力）

(3) 入学者選抜の基本方針

本専攻の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施する。

(3-1) 一般選抜

外国語試験（英語）、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-2) 留学生特別選抜

外国語試験（日本語）、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-3) 社会人特別選抜

小論文および面接、成績証明書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-4) 国際協力特別選抜

面接および青年海外協力隊などの国際貢献活動を行ってきた経験と研究計画との関連性についてまとめた概要書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

国際医療協力専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) 国際医療協力に対する高い関心

世界諸地域のさまざまな保健医療福祉問題について関心が高く、その改善に情熱を持ち、効果的で望ましい国際協力のあり方を探求している人

(1-2) 研究、問題解決への意欲

国際社会で発生する様々な保健医療福祉問題について自ら課題を見つけようとする意欲がある人
研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的に分析して解明する能力・技術を修得し、研究成果を実践活動に生かして国際保健医療に関する問題を解決したいという意欲がある人

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)及び「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) 国際医療協力の実践に必要な論理を修得する知識と能力を有している。(知識)

(2-2) 課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。(思考力・判断力)

(2-3) 高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。(態度・技能)

(2-4) 自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。(研究遂行能力)

(3) 入学選抜の基本方針

本専攻の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施する。

(3-1) 一般選抜

外国語試験(英語)、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-2) 留学生特別選抜

外国語試験(日本語)、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-3) 社会人特別選抜

小論文および面接、成績証明書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-4) 国際協力特別選抜

面接および青年海外協力隊などの国際貢献活動を行ってきた経験と研究計画との関連性についてまとめた概要書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

グローバル・コミュニケーション専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) グローバル社会における適性と高い関心

通訳や翻訳をはじめとする言語コミュニケーションの分野に関心があり、理論と実践、幅広い知見と深い洞察をもとにこの分野の先導的な役割を担うのに適した問題意識と能力を有する人

(1-2) 研究、問題解決への意欲

研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的に分析して解明する能力・技術を修得し、研究成果を実践活動に生かして言語コミュニケーションに関する問題を解決したいという意欲がある

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)及び「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) グローバル・コミュニケーションを国際的知見、異文化間的視座をもって実践するために必要な論理を修得する知識と能力を有している。(知識)

(2-2) 課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。(思考力・判断力)

(2-3) 高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。(態度・技能)

(2-4) 自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。(研究遂行能力)

(3) 入学選抜の基本方針

本専攻の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施する。

(3-1) 一般選抜

外国語試験(専門分野により英語または中国語)、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-2) 留学生特別選抜

外国語試験(日本語、中国語)、専門科目、面接等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-3) 社会人特別選抜

小論文、面接、成績証明書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-4) 国際協力特別選抜

面接、青年海外協力隊などの国際貢献活動を行ってきた経験と研究計画との関連性についてまとめた概要書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

開発問題専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) 国際社会に対する高い関心

国際社会において発生する様々な課題を、多くの側面から学際的に取り組む意志を持った人

(1-2) 実際の諸問題解決への意欲

開発協力にともなう諸問題に関して、言語や文化、社会に生起する具体的、実際の諸問題について究明する意欲を持つ人

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(1-4) 問題解決に向け高い倫理観を持って自立して研究課題を設定し、研究活動の実践によりその成果を生かすことができる人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)及び「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) 高度な専門的知見を備え、独創的構想を提起できる。(専門的知識)

(2-2) 入学後の修学に必要な基礎学力としての高度な外国語能力を身につけている。(専門的技能)

(2-3) 開発にともなう生じる社会構造および社会組織のさまざまな変容について、その要因、過程、結果を地域社会固有の言語、生活様式、文化などの諸側面からとらえることができる。(問題解決能力)

(2-4) 研究計画を立案・遂行し、論文を作成する基礎的能力を養うことができる。(研究遂行能力)

(3) 入学選抜の基本方針

本専攻の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施する。

(3-1) 一般選抜

外国語試験(英語)、小論文、口述試験、研究計画書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-2) 留学生特別選抜

外国語試験(英語)、小論文、口述試験、研究計画書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

(3-3) 社会人特別選抜

小論文および口述試験、実務経験報告書等の内容から、学習成果を総合して評価する。

博士前期（修士）課程

〈一般選抜・留学生特別選抜・社会人特別選抜・国際協力特別選抜〉

博士前期（修士）課程

I 募集人員

専攻名	2022年度入学募集人員
国際開発専攻	6名
国際医療協力専攻	4名
グローバル・コミュニケーション専攻	10名

上記募集人員は、一般選抜、留学生特別選抜、社会人特別選抜、国際協力特別選抜の合計です。

【注意事項】

- ① 2022年2月出願時に、2022年4月入学か2022年9月入学のどちらかを選択することができます。（※出願後の入学時期変更はできません。）
- ② 国外からの受験者については昨今のビザ取得状況から鑑みて、半年後の入学とします。よって、国外在住者が2022年2月入試を受験、合格した場合、入学時期は2022年9月となります。

II 出願資格

次の1～8のいずれかに該当する者（9～11に該当する者はそれぞれの要件を満たすこと）

- 1 大学を卒業した者または本大学院入学までに卒業見込みの者
- 2 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または本大学院入学までに授与される見込みの者
- 3 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者あるいは本大学院入学までに修了見込みの者
- 4 外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を授与された者または本大学院入学までに授与される見込みの者
- 5 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- 6 社会人特別選抜を希望する者で、以下の要件を満たす者
学士の学位取得後2年以上の在職経験を有する者
（国際医療協力専攻を希望する者は、日本国の医療系専修学校を修了後2年以上の在職経験を有する者も対象とする。）、
- 7 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者

- 8 本大学院が、上記1と同等以上の学力を有すると認めた者で入学時において22歳に達している者
- 9 外国人（外国籍の者）は、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学院入学に支障のない在留資格を有している者
- 10 国際協力特別選抜を希望する者で以下の要件を満たす者
 - (1) 出願時点で、1年以上の青年海外協力隊などの国際貢献活動経験を有し、当該機関・団体から推薦を得られる者
- 11 研究において以下の要件を満たす者
 - (1) 日中通訳翻訳研究を希望の者：
「日本語能力試験N1」以上、または「HSK5級」以上
 - (2) 英語研究を希望の者：
「TOEIC780点以上」または「TOEFL【80点（iBT）、213点（CBT）、550点（PBT）】以上」
または、「IELTS6.0以上」のこと
 - (3) 日本語研究を希望の者：
日本語が母語でない場合には、日本留学試験（日本語）の「成績通知書」または、
日本語能力試験「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書」の書類の写しを
提出すること

******* 注 意 事 項 *******

留学生特別選抜・社会人特別選抜・国際協力特別選抜および出願資格7～8により出願しようとする者については、出願資格有無確認を行います。
該当者は「Ⅲ 出願資格有無確認」の手続きを行ってください。

出願資格審査申請期間：2021年12月1日（水）～ 12月13日（月）

Ⅲ 出願資格有無確認

- 1 留学生特別選抜、社会人特別選抜、国際協力特別選抜および出願資格7～8で出願を希望する者は**出願資格有無確認**を行います。
下記（1）の出願資格有無確認期間内に（2）の出願資格有無確認書類一式を提出してください。
なお、出願資格有無確認書類を郵送する場合は、同封した茶色の封筒に一式を封入し、送達過程が記録される「書留」郵便で郵送してください。
本学で出願資格を確認後、**出願資格有無結果通知書**を送付します。
送付された**出願資格有無結果通知書**で出願資格を有すると認定された者は、後述Ⅳの出願方法に従い出願書類を提出してください。

（1）出願資格有無確認書類提出期間

【2月入試】2021年12月1日（水）～ 12月13日（月）

2 提出書類等

(2) 出願資格有無確認書類

提出書類等	備 考
① 履 歴 書	所定用紙
② 研究計画書	所定用紙
③ 国際協力活動の概要	国際協力特別選抜を希望する者のみ提出してください。 A4版用紙（縦長・横書）に、出願者が行ってきた国際協力活動と研究計画との関連性について具体的に日本語で2,000字程度にまとめたもの。
④ 卒業（見込）証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。
⑤ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。
⑥ 学位記の写し	外国の大学を卒業した者のみ提出してください。 （学位記の写しもしくは、学位授与証明書）
⑦ 推 薦 書	※本学学生は不要 所定用紙 推薦書は厳封のこと。 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。
⑧ 評 価 書	※本学学生のみ 所定用紙 評価書は厳封のこと。
⑨ 語学検定等証明書	出願資格の要件を満たす語学検定等の証明書を提出してください。 グローバル・コミュニケーション専攻を希望する者は、下記の出願資格要件を満たす語学検定の証明書を提出してください。 1. 日中通訳翻訳研究：「日本語能力試験N1」以上、または「HSK5級」以上の書類の写し 2. 英語研究：「TOEIC780点」以上または「TOEFL【80点(iBT)、213点(CBT)、550点(PBT)】」以上または、「IELTS6.0」以上の書類の写し 3. 日本語研究：日本語が母語でない場合には、日本留学試験（日本語）の「成績通知書」または日本語能力試験「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書」の書類の写し
⑩ 旅券・査証の写し及び住民票	※外国籍の方のみ提出してください。 日本に居住する者は、在留カードの写し（両面）、住民票、パスポートの写し（ビザと顔写真のページ）を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し（顔写真のページ）を提出してください。
⑪ 出願資格有無確認願	所定用紙
⑫ 返 信 用 封 筒 （※84円切手貼付）	各自 12cm×23.5cm の封筒を用意してください。（定型封筒） 封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し84円分の切手を貼付してください。 なお、日本国外からの出願者は国際協力研究科入試係へ問い合わせてください。

IV 出願方法

1 下記(1)の出願期間内に(2)の出願書類等を取り揃えて提出してください。

(1) 出願期間

【2月入試】2022年1月17日(月)～1月31日(月) 必着

(2) 出願書類等

出 願 書 等	備 考	一般選抜	出願資格 有無確認 を受けた 者
① 入 学 願 書	所定用紙	○	○
② 履 歴 書	所定用紙	○	
③ 健康診断書	所定用紙 出願前3か月以内に医師により作成されたもの。 ※本学学生は、学内の証明書自動発行機の証明書でも可とします。	○	○
④ 写真票・受験票	所定用紙	○	○
⑤ 写 真	※3枚 縦3cm×横2.4cm 裏面に氏名を明記して、入学願書、写真票、受験票に貼付してください。 半身、脱帽、正面写し。家庭用デジタルカメラで撮影した写真は不可。	○	○
⑥ 受験票在中封筒	本学所定の封筒。(なければ定型封筒で可。)本人の郵便番号、住所、 氏名を明記し、344円分の切手を貼付してください。 ※344円内訳：定型封筒料金84円+速達郵便料金260円	○	○
⑦ 研究計画書	所定用紙	○	
⑧ 卒業(見込)証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。	○	
⑨ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。	○	
⑩ 学位記の写し	外国の大学を卒業した者のみ提出してください。 学位記の写しもしくは、学位授与証明書	○	
⑪ 推 薦 書	※本学学生は提出の必要はありません。 所定用紙 推薦書は厳封のこと。 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。	○	
⑫ 評 価 書	※本学学生のみ所属ゼミナール担当教員による評価書を提出して ください。 所定用紙 評価書は厳封のこと。		
⑬ 語学検定等証明書	出願資格の要件を満たす語学検定等の証明書を提出してください。	○	
⑭ 旅券・査証の写し 及び住民票	※外国籍の方のみ提出してください。 日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、 パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページのみ) を提出してください。	○	
⑮ 保 証 書	※外国籍の方のみ提出してください。 東京都内または近郊に居住する日本人、あるいは日本に勤務している 外国人に保証を依頼してください。	○	○
⑯ 検 定 料	35,000円 検定料の銀行振込証明書を、入学願書裏面に貼付してください。	○	○

V 試験関連事項

1 試験日程および試験場

【2月入試】2022年2月12日（土） 井の頭キャンパス

2 試験科目および時間割

	10:00～11:00	11:20～12:20	13:10～
・一般選抜	外国語（英語）【中国語】	専門科目	面接
・留学生特別選抜	外国語（日本語）【中国語】	専門科目	面接
・社会人特別選抜	/	小論文	面接
・国際協力特別選抜	/	/	面接

注意事項

- (1) 一般選抜、留学生特別選抜でグローバル・コミュニケーション専攻（日中通訳翻訳研究）を希望する者は、外国語を中国語（翻訳）で受験すること。
- (2) 外国語試験は、試験開始20分前に試験室へ入室すること。専門試験、小論文は10分前に入室すること。
- (3) 試験開始から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。

専門科目試験は、専攻ごとに次のように実施します。

国際開発専攻	試験時に、① 国際政治・経済分野、② 経営分野、③ 法律分野 から、一科目を選択し、日本語で論述する。
国際医療協力専攻	試験時に、① 国際保健分野、② 看護分野、③ 社会福祉分野 から、一科目を選択し、日本語で論述する。
グローバル・コミュニケーション専攻	日中通訳翻訳希望者：グローバル・コミュニケーション論（中国語分野） 英語分野希望者：グローバル・コミュニケーション論（英語分野） 日本語分野希望者：グローバル・コミュニケーション論（日本語分野）

3 受験時注意事項

- (1) 外国語試験（英語・日本語・中国語）は、辞書のみ持ち込み可とします。ただし、電子辞書は不可です。
- (2) 試験場には、受験票および筆記用具を持参してください（受験票未着の場合は、試験当日受付に申し出てください）。
- (3) 外国語試験に辞書を使用する場合は、各自持参してください。貸与はしません。

VI 合格発表

【2月入試】2022年 2月16日（水） 午後3時 井の頭キャンパス

合格発表は、大学構内の掲示板での公示によって行います。また、合格者には合格発表後、合格通知書および入学手続き書類を郵送します。電話による問い合わせには応じません。

VII 入学手続きおよび学納金等

1. 【2月入試】2022年2月16日（水）～2022年3月2日（水）17時

合格者は、所定の期間内に、提出必要書類を取り揃えて入学手続きを行ってください。期日までに入学手続きが行われない場合は、入学が許可されませんので注意してください。なお、提出済み入学手続き書類は、いかなる事情があっても返却いたしません。

2. 学納金等

	入学時 (1年前期) 第1セメスター	入学時 (1年前期) 第1セメスター ※本学の学部卒業者	1年後期 第2セメスター	2年前期 第3セメスター	2年後期 第4セメスター
入 学 料	250,000 円	—	—	—	—
授 業 料	225,000 円	225,000 円	225,000 円	225,000 円	225,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	100,000 円	—	—
学生教育研究 害傷害保険料	(2年分) 1,750 円	(2年分) 1,750 円	—	—	—
計	576,750 円	326,750 円	325,000 円	225,000 円	225,000 円

※本人の申し出による

※ 本学の学部卒業者、卒業予定者が入学する場合には、入学金を免除します。

- (1) 学生教育研究災害傷害保険料（2年分）1,750 円は、入学時に一括納入してください。
- (2) 入学手続き完了者で、入学を辞退する場合は、既納付金の返還手続きをした者に限り、以下のとおり取り扱います。既納付金返還期日に手続きをした場合は、既納付金のうち入学金を除いたものを返還しますが、既納付金返還期日を超えた場合は、既納付金一切を返還しません。

既納付金返還期日

【2月入試】

<4月入学> 2021年3月31日（水）午後12時まで

<9月入学> 2021年9月14日（火）午後12時まで

VIII 奨学金制度

日本学生支援機構の大学院奨学金制度および本学の奨学金制度などが設けられています。詳細は、杏林大学大学院国際協力研究科ホームページを参照してください。

IX 注意事項

- 1 出願書類の不備なものは、受理できません。
- 2 出願状況に関する問い合わせには、一切応じません。
- 3 出願手続き後は、書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しも行いません。
- 4 入国に関する手続きは大学では一切関与しません。また、保証人に関する事柄も大学では一切関与しません。
- 5 入学手続き後は、入学料の払い戻しは行いません。
- 6 外国人（外国籍の人）は、入学手続きの際に日本での身元保証人が必要となります。
(身元保証人は日本に在住する独立生計を営む方で日本語が理解出来る方に依頼してください)
- 7 井の頭キャンパス内の禁煙化について
杏林大学では、東京都の「受動喫煙防止条例」に基づき、学生、教職員及び近隣の方々への健康被害を防止するため、井の頭キャンパスでは令和4年度から構内全域で禁煙化を予定しておりますので、構内での喫煙はできません。
また、三鷹市は受動喫煙禁止区域に指定されています。キャンパス周辺の路上・公園等での喫煙は絶対にしないでください。
本学は以下の事項について、積極的に取り組んでいきますので、入学生の皆様のご理解とご協力をお願いします。
 1. 禁煙活動キャンペーンの実施
 2. 大学病院外来での禁煙サポート

X 入学検定料振込先

検定料：35,000円

預金種目：普通預金

口座番号：1061826

振込先：三菱UFJ銀行西荻窪支店

受取人：(学) 杏林学園 杏林大学大学院国際協力研究科

博士後期（博士）課程

〈一般選抜・留学生選抜・社会人特別選抜〉

博士後期（博士）課程 〈一般選抜・留学生選抜・社会人特別選抜〉

I 募集人員

専攻名	2022年度入学募集人数
開発問題専攻	5名

上記募集人数は、一般選抜、留学生選抜、社会人特別選抜の合計です。

【注 意 事 項】

- ① 2022年2月出願時に、2022年4月入学か2022年9月入学のどちらかを選択することができます。（※出願後の入学時期変更はできません。）
- ② 国外からの受験者については昨今のビザ取得状況から鑑みて、半年後の入学とします。よって、2022年2月入試を受験、合格した場合の入学時期は、2022年9月入学となります。

II 出願資格

- 1 修士の学位を有する者あるいは博士前期（修士）の学位を本大学院入学までに取得見込みの者
- 2 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者あるいは本大学院入学までに学位を取得見込みの者
- 3 文部科学大臣の指定した者
 - ① 学士の学位を有し、大学または研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において当該研究の成果等により、上記1と同等以上の学力があると認められた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学または研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、上記1と同等以上の学力があると認められた者
- 4 本大学院が上記1と同等以上の学力を有すると認められた者で、入学時において24歳に達している者
- 5 社会人特別選抜を希望する者は、学士以上の学位取得後2年以上の在職経験を有する者
- 6 外国人は出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学院入学に支障のない在留資格を有すること

***** 注 意 事 項 *****

留学生選抜・社会人特別選抜および出願資格4により出願しようとする者については、事前審査を行います。該当者は「IV 事前審査」の手続きを行ってください。

Ⅲ 必要とされる語学能力

- (1) 外国人（外国籍の者）は、日本語能力試験N1（旧1級）合格の者、またはそれと同等以上の日本語の能力検定合格の者
- (2) 研究指導科目のグローバル・コミュニケーション（中国語分野・英語分野）において、研究指導を受けようとする者は次のいずれかの要件を満たしていることが望ましい。
 - ① 中国語分野希望の者：「日本語能力検定N1」以上、または「HSK6級」以上
 - ② 英語分野希望の者：「TOEIC 780点以上」または「TOEFL【80点（iBT）、213点（CBT）、550点（PBT）】以上」または「IELTS6.0以上」のこと

Ⅳ 事前審査

- 1 留学生選抜、社会人特別選抜および出願資格4で出願を希望する者は**事前審査**を行います。
下記（1）の事前審査書類提出期間内に（2）の事前審査書類一式を提出してください。
なお、事前審査書類を郵送する場合は、同封した茶色の封筒に一式を封入し、送達過程が記録される「書留」郵便で郵送してください。
本学で出願資格を確認後、**事前審査結果通知書**を送付します。送付された**事前審査結果通知書**で出願資格を有すると認定された者は、後述Vの出願方法に従い出願書類を提出してください。

（1）事前審査書類提出期間

【2月入試】2021年12月1日（水）～ 12月13日（月）必着

2 提出書類等

(2) 事前審査書類

提出書類等	備考
① 履歴書	所定用紙
② 研究計画書	所定用紙
③ 修士論文またはそれに準ずるもの(コピー可)および論文等の要旨	<u>各 3 部</u> ただし本学大学院博士前期(修士)課程修了者および修了見込み者の場合は、修士論文の要旨 3 部のみを提出してください。
④ 博士前期(修士)課程修了(見込み)証明書または、卒業証明書もしくは学位授与証明書	最終出身大学長等より交付されたもの 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。
⑤ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの
⑥ 推薦書	所定用紙 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの 推薦書は厳封のこと。
⑦ 実務経験報告書 <u>(※社会人特別選抜のみ)</u>	形式自由 研究者、実務家の経験を有する場合、大学卒業後または大学院修了後の実務経験を詳細に記載したもの
⑧ 語学検定等証明書	該当する者のみ提出してください。
⑨ 旅券・査証の写し及び住民票	<u>※外国籍の方のみ提出してください。</u> 日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページ)を提出してください。
⑩ 事前審査願	所定用紙
⑪ 返信用封筒 (※84円切手貼付)	<u>各自 12cm×23.5cm の封筒を用意してください。(定型封筒)</u> 封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の切手を貼付してください。なお、国外からの出願者は国際協力研究科入試係へ問い合わせてください。

※本学大学院博士前期(修士)課程修了者および修了見込み者は、④、⑤、⑥の書類の提出は不要です。

V 出願方法

1 下記(1)の出願期間内に(2)の出願書類等を取り揃えて提出してください。

(1) 出願期間

【2月入試】2022年1月17日(月)～1月31日(月) 必着

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考	一般選抜	事前審査を受けた者
① 入 学 願 書	所定用紙	○	○
② 履 歴 書	所定用紙	○	
③ 健康診断書	所定用紙 出願前3か月以内に医師により作成されたもの。本学学生は、学内の証明書自動発行機の証明書でも可とします。	○	○
④ 写真票・受験票	所定用紙	○	○
⑤ 写 真	3枚 縦3cm×横2.4cm 裏面に氏名を明記して、入学願書、写真票、受験票に貼付してください。 半身、脱帽、正面写し。家庭用デジタルカメラで撮影した写真は不可。	○	○
⑥ 受験票在中封筒	本学所定の封筒。本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達用の切手(344円)を貼付してください。 ※344円内訳：定型封筒料金84円+速達郵便料金260円	○	○
⑦ 研究計画書	所定用紙	○	
⑧ 修士論文またはそれに準ずるもの(コピー可)および論文等の要旨	各3部 ただし本学大学院博士前期(修士)課程修了者および修了見込み者の場合は修士論文の要旨3部のみを提出してください。	○	
⑨ 博士前期(修士)課程修了(見込み)証明書または、卒業証明書もしくは学位授与証明書	最終出身大学長等より交付されたもの ※ <u>証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。</u>	○	
⑩ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの	○	
⑪ 推 薦 書	所定用紙 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。厳封のこと。	○	
⑫ 語学検定等証明書	該当する者のみ提出してください。	○	
⑬ 旅券・査証の写し及び住民票	<u>※外国籍の方のみ提出してください。</u> 日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページ)を提出してください。	○	
⑭ 保 証 書	<u>※外国籍の方のみ提出してください。</u> 東京都内または近郊に居住する日本人、あるいは日本にある公的機関に勤務している外国人に保証を依頼してください。	○	○
⑮ 検 定 料	35,000円 入学検定料35,000円の銀行振込証明書を、入学願書裏面に貼付してください。	○	○

※本学大学院博士前期(修士)課程修了者および修了見込み者は、⑨、⑩、⑪の書類の提出は不要です。

VI 試験関連事項

1 試験日程および試験場

【2月入試】2022年2月12日（土） 井の頭キャンパス

2 試験科目および時間割

	10:00～11:00	11:20～12:20	13:10～
一般選抜	外国語（英語）	小論文	口述試験
留学生選抜	外国語（英語）	小論文	口述試験
社会人特別選抜		小論文	口述試験

***** 注意事項 *****

- (1) 口述試験では、提出論文、論文要旨、研究計画書および各人の研究主題等について口頭試問を行います。
- (2) 外国語試験は、試験開始20分前に試験室へ入室、小論文は10分前に入室してください。
- (3) 試験開始から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。

3 受験者注意事項

- (1) 外国語試験（英語）は、辞書のみ持ち込み可とします。ただし、電子辞書は不可です。
- (2) 試験場には、受験票および筆記用具を持参してください（受験票未着の場合は、試験当日受付に申し出てください）。
- (3) 外国語試験に辞書を使用する場合は、各自持参してください。貸与はしません。

VII 合格発表

【2月入試】2022年 2月16日（水） 午後3時 井の頭キャンパス

合格発表は、大学構内の掲示板での公示によって行います。また、合格者には合格発表後、合格通知書および入学手続き書類を郵送します。電話による問い合わせには応じません。

Ⅷ 入学手続きおよび学納金等

1. 入学手続き期間

【2月入試】2022年2月16日（水）～2022年3月2日（水）17時

合格者は、所定の期間内に、提出必要書類を取り揃えて、入学手続きを行ってください。期日までに入学手続きが行われない場合は、入学が許可されませんので注意してください。なお、提出済み入学手続き書類は、いかなる事情があっても返却いたしません。

2. 学納金等

	入学時 (1年前期) 第1セメスター	入学時 (1年前期) 第1セメスター ※本大学院修了者	1年後期 第2セメスター	2年前期以降 第3セメスター以降
入 学 料	250,000 円	—	—	—
授 業 料	225,000 円	225,000 円	225,000 円	225,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	100,000 円	—
学生教育研究 災害傷害保険料 (3年分)	2,600 円	2,600 円	—	—
計	577,600 円	327,600 円	325,000 円	225,000 円

※本人の申し出による

※ 本大学院修了者、修了予定者が入学する場合には、入学金を免除します。

- (1) 学生教育研究災害傷害保険料（3年分）は、入学時に一括納入してください。
- (2) 本学大学院博士前期（修士）課程を修了もしくは修了の見込みがあり、博士後期課程に入学する場合は、入学金を免除します。
- (3) 入学手続き完了者で、入学を辞退する場合は、既納付金の返還手続きをした者に限り、以下のとおり取り扱います。既納付金返還期日前に手続きをした場合は、既納付金のうち入学金を除いたものを返還しますが、既納付金返還期日を超えた場合は、既納付金一切を返還しません。

既納付金返還期日

【2月入試】

<4月入学> 2022年3月31日（木）午後12時まで

<9月入学> 2022年9月14日（水）午後12時まで

IX 奨学金制度

日本学生支援機構の大学院奨学金制度および本学の奨学金制度などが設けられています。詳細は、杏林大学大学院国際協力研究科ホームページを参照してください。

X 注意事項

- 1 出願書類の不備なものは、受理できません。
- 2 出願状況に関する問い合わせには、一切応じません。
- 3 出願手続き後は、書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しも行いません。
- 4 入国に関する手続きは大学では一切関与しません。また、保証人に関する事柄も大学では一切関与しません。
- 5 入学手続き後は、入学料の払い戻しは行いません。
- 6 外国人（外国籍の人）の方は、入学手続きの際に日本での身元保証人が必要となります。（身元保証人は日本に在住する独立生計を営む方で日本語が理解出来る方に依頼してください）
- 7 井の頭キャンパス内の禁煙化について
杏林大学では、東京都の「受動喫煙防止条例」に基づき、学生、教職員及び近隣の方々への健康被害を防止するため、井の頭キャンパスでは令和4年度から構内全域で禁煙化を予定しておりますので、構内での喫煙はできません。
また、三鷹市は受動喫煙禁止区域に指定されています。キャンパス周辺の路上・公園等での喫煙は絶対にしないでください。
本学は以下の事項について、積極的に取り組んでいきますので、入学生の皆様のご理解とご協力をお願いします。
 1. 禁煙活動キャンペーンの実施
 2. 大学病院外来での禁煙サポート

XI 入学検定料振込先

検定料：35,000円

預金種目：普通預金

口座番号：1061826

振込先：三菱UFJ銀行西荻窪支店

受取人：(学) 杏林学園 杏林大学大学院国際協力研究科

出願書類提出先及び問合せ先

杏林大学大学院国際協力研究科入試係（井の頭キャンパス）
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
TEL 0422-47-8000（代表）

【受付時間】 平日：9:00～16:00 土曜日：9:00～12:30

E-mail : kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp